

2013年7月定例会 テーマ2 参加にあたってのお願い

■ テーマ2「ワークショップのプログラムデザインノウハウを深める会」の参加には、資料提出が必要です。

■ 定例会当日に下記2点を6セットずつ持参してください。

提出物	提出部数	説明
1 PDノウハウシート	6セット	- 定例会の事前ワークとして、個人のプログラムデザインのノウハウを整理するワークシート - 分量は2～3枚程度を想定 - 次ページより詳細を説明
2 過去作成したワークショップのプログラム関連資料一式	6セット	- 過去に自身が作ったワークショップの、企画資料、プログラム詳細、タイムスケジュール等の資料一式 - 定例会中において、プログラムデザインの成果物イメージとしてチームメンバーへ共有する

注意事項

- 提出物は定例会でチームメンバーとファシリテーターへ提出するため、機密情報等は予め削除した上で持参してください。
- 提出物を忘れた場合、定例会に参加できなくなる可能性がありますのでご注意ください。

定例会におけるPDノウハウシートの位置づけ

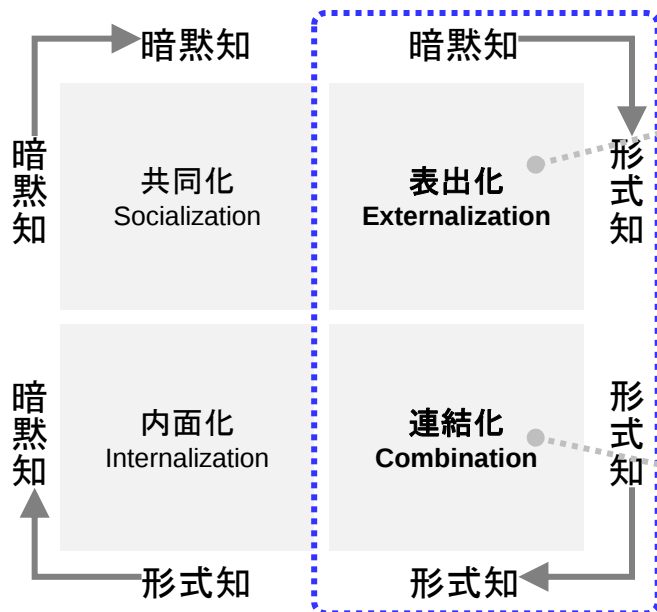
- 「ワークショップのプログラムデザインノウハウを深める会」では、WSの実践家である参加者が各自のPDのノウハウを持ち寄り、より深いPDノウハウの創造を目指します。
- 定例会当日にPDノウハウを共有できるように、PDノウハウシートの事前作成をお願いします。

【略字説明】 WS:ワークショップ PD:プログラムデザイン PG:プログラム

PDノウハウ深化プロセスにおける本定例会の位置づけ

- ・ 会員のPDノウハウを深化させるSECIプロセスの内、本定例会では表出化・連結化を対象範囲とする

本テーマの位置づけ



SECIモデル

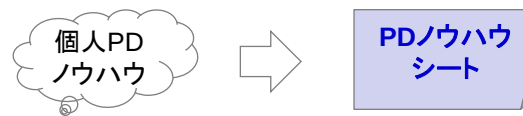
出典:野中郁次郎、竹内弘高

『知識創造企業』東洋経済新報社(1996/3)

「WSのPDノウハウを深める会」の概要

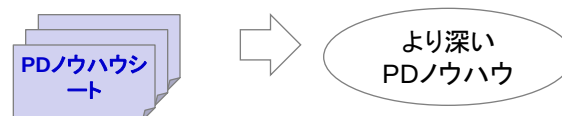
事前ワーク

個人のPDノウハウを形式知化し、PDノウハウシートに記載する



定例会当日

PDノウハウシートを持ち寄り、より深いPDノウハウ創造を目指す



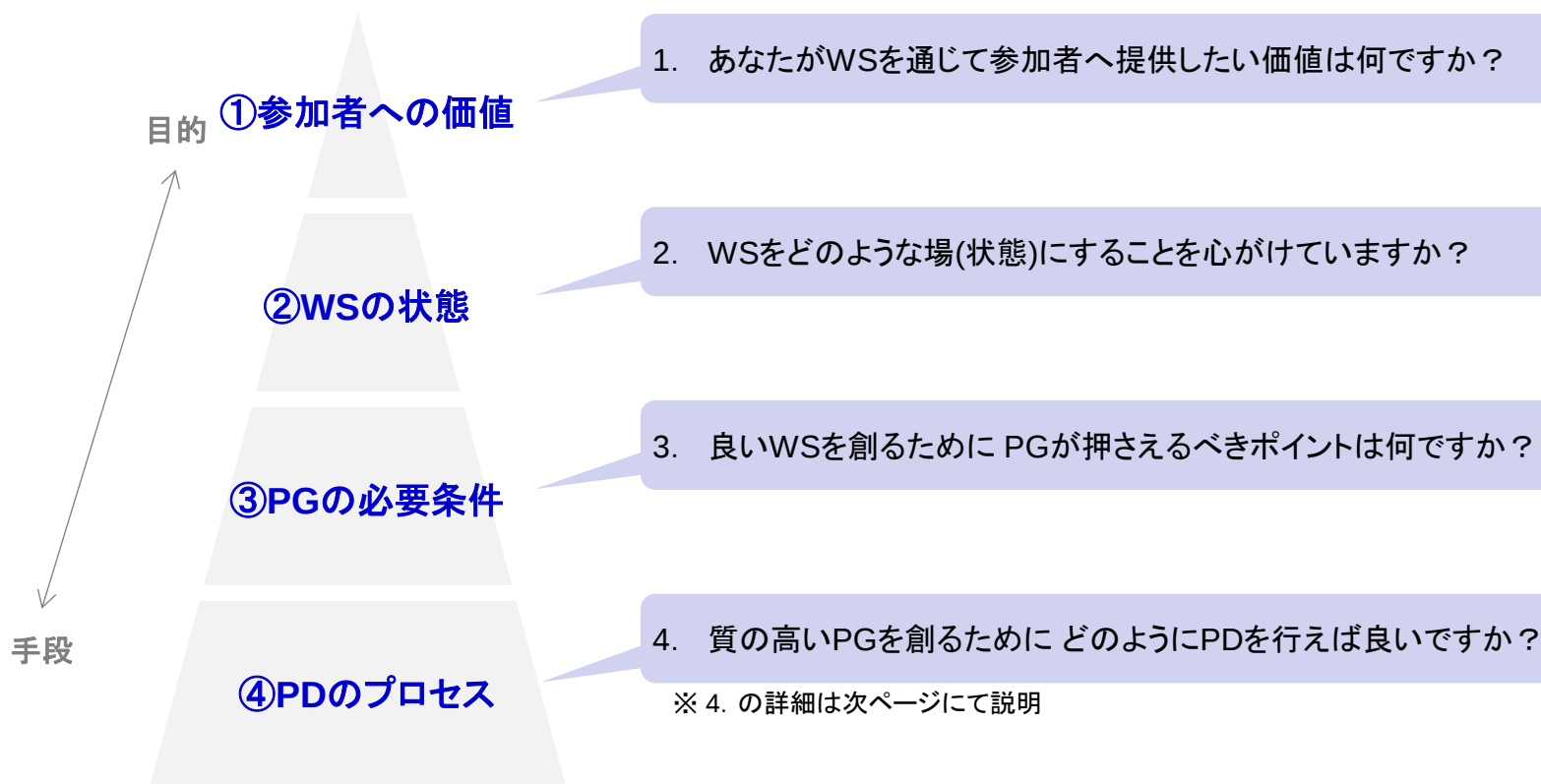
PDノウハウシートの全体像

■ PDノウハウシートは、PDの知見を4つの階層で表現しており、各階層は目的・手段の関係となっています。

【略字説明】 WS:ワークショップ PD:プログラムデザイン PG:プログラム

PDノウハウの4階層

各階層に対応するPDノウハウシートの項目



【備考】本定例会におけるWSの定義

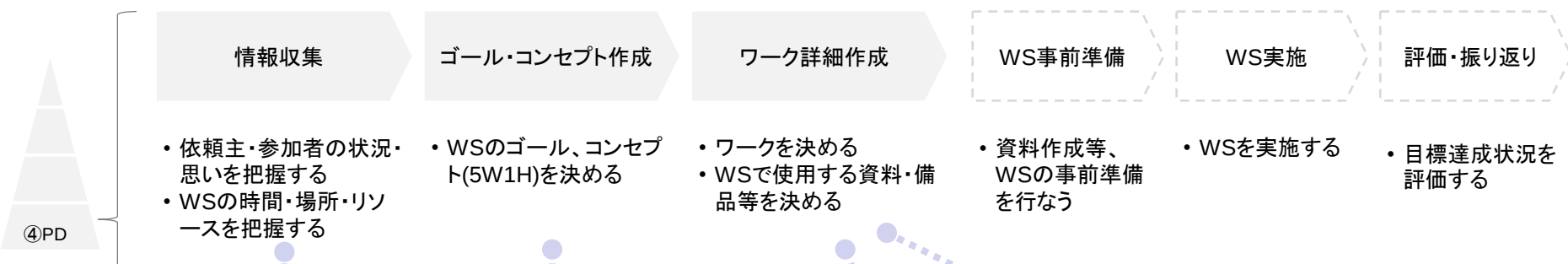
議論の前提を合わせるため、本定例会においては下記をWSの定義とします。

「特定の目的のもと 特定の時間内において 参加者が主体となり 学びや創造を生み出す活動」

「④PDのプロセス」の研究範囲

- PDプロセスのノウハウは多岐にわたるため、定例会では時間の都合上「参加者の把握、ゴール設定、ワーク作成、主体性の促進」の4つのポイントに絞り研究を行います。
- そのためPDノウハウシートも、下記4項目について記載をお願いします。

④PDのプロセス



PDノウハウシートの項目

4-1. 参加者の把握

スタート時点の参加者の状態を把握するため、どのような情報を収集しますか？

4-2. ゴール設定

ゴール設定の観点やコツを教えてください

4-3. ワーク作成

全体の流れや各ワーク(アクティビティ)は、どのような思考プロセスで決めますか？

4-4. 主体性の促進

参加者の主体性を引き出すために、PDにおいて大切にしていることは何ですか？